

『教職員の人財育成』

一人一人が県の大切な財産

「風鈴と金魚」U-Y 作

自己のモチベーションを高め、職場での豊かなコミュニケーションを育みながら、資質能力向上を目指しましょう！



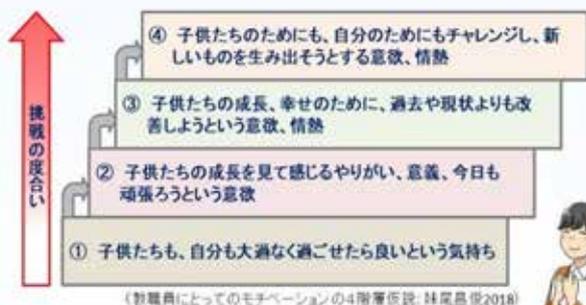
第6号に引き続き、6月8日・9日に開催した「第1回管理職研修会」の話題提供です。今回は、「学校における人財育成」についての講話で示した資料（スライド）を紹介します。

教職員は、本県教育を担う大切な「人財」であり、県の財産です。全ての教職員の人財育成が、『活力ある学校づくり』を推進する上で重要です。参加した管理職の先生方は、グループ協議で、若手・ミドル・ベテラン、それぞれの育成について、活発な意見交換を行いました。

先生方も次の資料を使って、自分自身の姿を振り返ってみてください。

1. 「モチベーションの4階層」

「モチベーションは、職場を動かし、組織を動かすもっとも大きな要因である」(京大名誉教授 田尾 雅夫)



これは、教職員にとってのモチベーションの4階層仮説を示したものです。「モチベーションは職場を動かし、組織を動かす最も大きな要因である」と言われます。上位にいくほど挑戦意欲・改革意欲が高くなり、自己や組織を高める原動力に繋がると考えられています。先生方のモチベーションは、今、どの階層にあるでしょうか。

2. 「職場で受ける3つの支援」

職場において、周囲から何を得ているか

業務支援	自分にはない専門知識・スキルを提供してくれる 仕事の相談に乗ってくれる 仕事に必要な他部門との調整をしてくれる 自分の目標・手本となってくれる 自律的に働けるよう、まかせてくれる
内省支援	仕事のやる気を高めてくれる 自分について客観的な意見を言ってくれる 自分自身を振り返る機会を与えてくれる 競争心を高めてくれる 自分の良い点を伸ばしてくれる 自分にはない新たな視点を与えてくれる
精神的支援	精神的なやすらぎを与えてくれる 仕事の息抜きになる 心の支えになってくれる プライベートな相談にのってくれる 楽しく仕事ができる雰囲気を与えてくれる

(中原洋「リフレクティブマネジャー」2009より引用一部改変)

これは、企業で働く人々が、周囲からどのような支援を受けているかを、業務上（スキル面）、内省上（自己を振り返るきっかけ）、精神上（安らぎ・息抜き）の観点から分類した表です。この3種類の支援は、異なる人から得られるということが明らかになっており、特に「内省支援」は、成長しようとする意欲に最も影響があるという研究結果があります。



教職員間では、お互いに支援を受け与えている関係があると言えます。職場の良好なコミュニケーションは、教職員の成長に大きく影響します。目の前の授業に追われ、子供や保護者の対応に追われる日々の中で、自分の行っていることにポジティブに意味付けができるよう、お互いの関わり合いを大切にしてほしいと願っています。